

令和2年8月30日
今週のベストショット



奈多グラウンド 三苦三球会 対 奈多フェニックス

三球会の剛腕池上投手から完璧な2ホーマーのフェニックス一番の望月選手。

サヨナラHRでBブロック1位通過を決める。

写真：三友クラブ 大坪 和則

奈多グラウンド 緊迫した好ゲーム、幕切れは劇的サヨナラホームラン！

三苦三球会 (2勝3敗) 002002 4 池上●-藤沢(隆)

奈多フェニックス (4勝1敗) 002021x 5x 今林(勇)○-実延(新)

HR：船橋(三球会) 望月2(奈多フ) 盗塁：今林(勇)(奈多フ) 松尾(三球会)

勝てば奈多フェニックスはB組1位決定、三苦三球会は決勝トーナメント自力進出が決まる大事な試合。先発は奈多フェニックス今林勇太投手。三苦三球会は池上投手で試合は始まった。両投手とも一回は、危なげなく順調な滑り出しを見せる。二回裏、フェニックスは七番実延(新)選手が綺麗にレフト前ヒットで出塁するがあとが続かなかった。試合が動き出したのは三回からだ。三回表、三球会は1死から九番渡辺選手が内野安打で出塁すると、一番船橋選手がインコースへの速球を鋭く振り抜き、球は高々と上がり、右中間への2ランHR！三球会が2点を先制した。その裏、フェニックスはその回まで5三振を奪われていた池上投手から九番須藤選手が内野安打で出塁すると、一番望月選手が池上投手の外角低めのストレートをガツンと弾き返し、ライナーでライトオーバーの2ランHR！すぐさま同点とした。両チームとも九番が出塁し、一番がホームランという同じような攻撃だった。五回裏、フェニックスは一死後、九番須藤選手が綺麗にレフト前ヒットで出塁すると一番望月選手がセカンドの横を抜けるヒットで一二塁とする。PBもあり二死二三塁としたところで、三番能丸選手のショートゴロの間

に三塁ランナーが返り1点を追加。更にPBもあり、この回2得点でフェニックスが2点リードとする。両エースの好投で回は進む。七回表、あとがない三球会は、先頭六番堺(太)選手が内野安打で出塁する。二死となり、三球会万事休すか思われたが、九番渡辺選手がどうにかすると気持ちが入った打球はセンター前に抜けるヒットとなり一死。ここで三回にホームランを放った一番船橋選手が打席に入る。フェニックス今林(勇)投手は低めへの丁寧なピッチングで三球会打線を抑えていたが、船橋選手が上手に今林投手の速球を弾き返し、ピッチャーグラブを弾くライナーでのヒット！外野に転がった球の処理がもたつく間に一塁ランナーも返り、二死から同点とし三球会ベンチも大喜びとなった！その裏フェニックスの最後の攻撃となる。池上投手の好投で、先頭、次打者を三振に仕留め、二死となり、同点で試合終了かと思われた。ここで、三回にHRを放った一番望月選手が打席に入る。そして、池上投手の速球をガツンと振り抜いた打球は、レフトへ高々と上がり、奈多グラウンドレフト側の木の枝に当たる劇的なサヨナラホームランとなった。リードされながらも、土壇場で追いついた三球会のベテランと若手が噛み合った打線や、声を出しナインを盛り上げたベテラン選手たちは素晴らしかった。今日は四番の活躍は無かったが、それでもみんなで打線をつなげ、ピンチを切り抜けたフェニックスナインは素晴らしかった。ちなみに本日は活躍した両チームの一番コンビは同大学の先輩後輩だそうです。

(記事：三友クラブ 駄原 孝一郎、写真：大坪 和則)

写真 1 : 奈多フェニックス先発今林(勇)投手。

写真 2 : 三苦三球会先発池上投手。

写真 3 : 二回裏、鋭いレフト前ヒット！フェニックス七番実延(新)選手。

写真 4 : 三回表、2ランHRを放ち、笑顔の三球会一番船橋選手。

写真 5 : 三回裏、ガツンとライナーでの2ランHR！フェニックス一番望月選手。

写真 6 : 四回表、ライト前ヒットを放つ三球会四番半田選手。

写真 7 : 四回表、一塁へのゴロを捕球し飛び込んでベースタッチするフェニックス一塁香山選手。

写真 8 : 五回裏、レフト前ヒットを放つフェニックス九番須藤選手。

写真 9 : 六回表、レフト前ヒット前ヒット！三球会三番大津選手。

写真 10 : 七回表、先頭、内野安打を放つ三球会六番塚(太)選手。

写真 11 : 七回表、なんとかしたい！センター前ヒットの三球会九番渡辺選手。

写真 12 : 七回表、同点となるヒット！三球会一番船橋選手。

写真 13 : 七回裏、劇的なサヨナラHR！フェニックス一番望月選手。

写真 14 : 今日の試合を盛り上げた！笑顔のフェニックス望月選手と山本選手。

青松園 A 奈多クラブ、逃げ切る！

三苦フレンズ（4勝1敗）3 1 2 1 0 0 7 吉村●、山口ー松尾、佐藤（由）

奈多クラブ（2種3敗）5 6 0 0 0 × 1 1 大石○、今林（瑠）ー安河内

HR：江藤（奈多ク）

奈多クラブは3点を先取された後の一回裏、先頭の一発大石選手の痛烈なセンター前ヒットを皮切りに四者連続安打などで一挙5点を奪いあつという間に逆転をする。奈多クラブ先発の大石投手は制球難に苦しみながらも球威のある球を投げ込み痛打を許すことはなく、二回表は最少失点の1点で凌ぐ。二回裏奈多クラブは三番江藤選手の本塁打を含む6安打、6得点でフレンズを大きく突き放す。フレンズは三回裏から先発の吉村投手に代えてエース山口投手が登板。三回から五回までのアウト9つのうち、8つが三振と圧巻のピッチングで追加点を許さなかった。しかしやはり二回までの11失点が重すぎた

か、四回まで小刻みに得点を重ねていくも届かない。奈多クラブは四回から今林（瑠）投手が2シーズン振りに登板を果たす。ブランクはあったようだが、かつてのエース。五回と六回を無失点で切り抜け、奈多クラブが逃げ切りに成功。フレンズは全勝とはならず、今季初の黒星となってしまった。（記事・写真：雁の巣ライナース 明瀬 旭）

写真1：奈多クラブ先発の大石投手。

写真2：三苦フレンズ先発の吉村投手。

写真3：一回裏奈多クラブ二番今林（賢）選手の左前安打。

写真4：一回裏痛烈な打球を放つ奈多クラブ六番馬場口選手。

写真5：二回表4点目のホームを踏む三苦フレンズ松尾選手。

写真6：一打席きりだったがきっちり中前安打を放った奈多クラブ今林（瑠）選手。

写真7：三苦フレンズ二番手山口投手。

写真8：奈多クラブ二番手今林（瑠）選手。

写真9：ナイスポーズ！久しぶり！（笑）

写真10：三苦フレンズのスコア、オーダー表

写真11：奈多クラブのスコア、オーダー表